

## 第14回計画策定・推進部会(令和元年5月9日開催)における意見

## ■理念・視点・方向性について

## ○子育てに関する意識

- ・子育て・子供と一緒に過ごす時間の喜び、子供を育てている実感・充実感を、感じられるようにすることが必要
- ・子供を一人の人格として認めていくことが重要であることの啓発が必要
- ・子供を持たない世帯や子供と接する機会が少ない層にも、子供や子育て世帯への理解や寛容性に関し、働きかけが必要
- ・働き方改革の流れも踏まえ、子育てと仕事の両立について、一層支援が必要
- ・子育てサービスの客体ではなく、子育ての主体として親が参加する視点も必要

## ○障害のある子供への支援について、インクルーシブの視点が必要

## ○外国人の子供、保護者が増加している視点からの検討が必要

## ○子供・若者計画との連動を意識することが必要

## ○都の計画として広域的な視点が重要

## ■子育て支援の具体的取組について

## ○学童クラブの量的拡充が必要

## ○子育ての孤立化を防ぐ観点からも、子育てひろばの取組は重要

## ○ひとり親家庭への一層の支援が必要

## ○就学前教育と小学校教育とで、切れ目が生じないように、一層の取組が必要

## ■人材育成について

## ○キャリアアップや、労働環境の整備(多様な勤務形態を含む。)の視点が必要であり、職員を育成し守ることが、ひいては、教育・保育等の質の向上にもつながる。

## ○職員の育成・定着には、経営者等のマネジメントの様々な工夫が一層重要